



美術館お正月イベントを実施!

本年のお正月、県立美術館は新年2日から開館しました。新春にふさわしい、おめでたい意味を持つ作品の展示「めでたづくし」に加え、呈茶や琴の演奏会、けん玉やコマなどで遊べるお正月伝統遊びコーナーなど、様々なイベントを開催。2日朝から多くのお客様がご来館され、お正月らしい雰囲気の中でゆったりとした時間をお過ごし頂きました。開館以来初の試みとなったお正月開館。来年もご期待下さい。



県立美術館メンバーズクラブ設立!

館内
インフォメーション

美術に広く親しんで頂き、地域文化の向上に寄与することを目的として、山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館の県立美術館2館では、共通のメンバーズクラブを設立します。平成26年4月より入会受付を開始します。皆さまの入会をお待ちしております。 ※会員特典・入会方法等、詳細は当館HP、会員募集チラシをご覧ください。

- ▶観覧特典
2館の特別展(企画展)・コレクション展(普通展示*)を計3回まで無料
※1特別展(企画展)開催時に限ります。
- ▶年会費
一般:2000円/学生:1700円
シニア(70歳以上):1400円
- ▶初年度入会受付
平成26年4~7月末

美術館常設カフェ OPEN!

特別展開催時に限ってOPENしていた館内カフェが、今春より通年での営業を開始します。公募による選考の結果、山口市阿知須の洋菓子店「ロワソブルー」が、美術館カフェの営業を行います(4月中旬より営業予定)。ご来館の際は是非ご利用下さい。



2014 - 2015 schedule

山口県立美術館 平成26年度年間スケジュール

	展示室 A	展示室 B	展示室 C	展示室 D	展示室 E	展示室 F
4	4/13(日)までは「2013年度・第6期コレクション展」を継続します。 4/17(木)-7/22(火)	4/17(木)-7/22(火)	4/17(木)-5/11(日)	4/17(木)-5/6(火) 休館(4/14-4/16)		
5	版画の世界	山口県の工芸	花くらべ	コレクション特別企画 没後40年 香月泰男展 シベリア・シリーズと原画	特別展 国際浮世絵学会創立50周年記念 大浮世絵展	休館(5/12-5/15)
5/16(金)-6/15(日) 雪舟と雲谷派1 題のガチス・正風の山ガチ						
6/17(火)-7/22(火) 雪舟と雲谷派2 浮世のたのしみ 一食・遊・学一						
6				5/16(金)-7/13(日)		
7	7/26(土)-10/26(日)	7/26(土)-10/26(日)	7/26(土)-8/24(日)	7/26(土)-9/7(日)		
8	小林和作の世界	香月泰男と シベリア・シリーズ1	モノクロームな 日本画	特別展 放浪の天才画家 山下清	休館(9/11-9/18)	第68回山口県美術展覧会 休館(10/27-10/29)
8/26(火)-9/28(日) 雪舟と雲谷派3 (雲谷派)を予習します!						
9/30(火)-10/26(日) 栄西ゆかりの寺・ 狗留孫山修善寺の絵画						
9				10/2(木)-10/19(日)		
10	10/30(木)-2/1(日)	10/30(木)-2/1(日)	10/30(木)-11/30(日)	休館(10/27-10/29)		
11	昭和の情景	香月泰男と シベリア・シリーズ2	雪舟と雲谷派	コレクション特別企画 雪舟と雲谷派	休館(12/22-1/1)	第67回山口県学校美術展覧会 山口県立大学卒業制作展 山口芸術短期大学卒業制作展 山口大学教育学部美術教育卒業・修了制作展
12/2(火)-12/21(日) みやこの日本画						
1/2(金)-2/1(日) 新春の寿ぎ						
1			吉村芳生	1/14(水)-1/18(日)		
2	2/3(火)-4/12(日)	2/3(火)-4/12(日)	白くてふわふわ	2/21(土)-4/12(日)		
3	ぶち	香月泰男と シベリア・シリーズ3	近代の日本画	特別展 超絶技巧! 明治工芸の粋 -これぞ明治のクールジャパン-		

Information

- 休館日
月曜日(祝日・休日の場合は開館)
展示替期間 2014年4月14日(月)~16日(水)、5月12日(月)~15日(木)、7月23日(水)~25日(金)、9月11日(木)~18日(木)、10月27日(月)~29日(水)、12月22日(月)~2015年1月1日(木・祝)、2月19日(木)~20日(金)
- 開館時間
9:00~17:00(入館は16:30まで) ※特別展:別途定めた時間
- 料金
コレクション展:一般300(240)円 学生200(160)円
※()内は20名以上の団体料金。
※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍する方等は無料。
※身体障害者手帳、戦傷病者手帳、知的障害者手帳、精神障害児手帳の交付を受けている者及びその介護人は無料。

特別展:別途定めた料金

f フェイスブックはじめました



山口県立美術館
Yamaguchi Prefectural Art Museum
〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1
TEL:083-925-7788 FAX:083-925-7790
http://www.yma-web.jp/

Yamaguchi Prefectural Art Museum

121

Contents

コレクション展〈雪舟と雲谷派2〉

特別展

国際浮世絵学会創立50周年記念 大浮世絵展

放浪の天才画家 山下清

超絶技巧! 明治の工芸の粋 -これぞ明治のクールジャパン-

コレクション特別企画

没後40年 香月泰男展 シベリア・シリーズと原画

雪舟と雲谷派

イベントリポート

館内インフォメーション

年間スケジュール

山口県立美術館ニュース「天花」

天花

TENGE

Collection

コレクション展

〈雪舟と雲谷派2〉 浮世のたのしみ 一食・遊・学一

6/17 四 - 7/22 四

表紙作品解説

《琴棋書画図屏風(左隻)》 雲谷等益 17世紀 山口県立美術館蔵

生きることさえ無常にも思える浮世といえども、人間、些末な日常のたのしみだっているはず。今年度の特別展「大浮世絵展」にあわせて、当館が誇る江戸時代の雲谷派コレクションの中から、「食べる」・「遊ぶ」・「学ぶ」にちなんだ絵画を選びご紹介いたします。

この作品は、その内のひとつ。

人里離れた山麓には不釣り合いにも見える、豪華なテラスのセット。せわしい日常から逃れ、時が過ぎるのも忘れて趣味の世界に遊ぶことができたなら…まさにそんな人間誰しもが夢みる理想郷のような空間が、江戸初期画壇の異才・雲谷等益の手によってリアルに演出されています。

「むむっ・・・いやいやこじやなくて、こっちだ」ーパチン。

「う〜ん、クライマックスの締めが決まらないんだよなあ・・・」

「ほうほう、お上手なものですなあ」

なんて、画面の中から登場人物のくぐもった声が聞こえてきそうです。声の主は、それぞれ、この絵の中の囲碁、書、絵をたのむ場面にいますので、詳しくは展示室で探してみてください。

琴を弾き、囲碁を打ち、書や絵をたしなむことは、古来より中国の知識人が身につけるべき教養でした。4つあわせて《琴棋書画(きんきしよが)》と呼ばれ、日本でも好んで絵に描かれてきた伝統的な画題のひとつです。

琴を弾くシーンは、紙面の都合上、ここではご紹介できないこの屏風の右隻に登場します。そんな見ているだけでもホッとする浮世のたのしみの世界に、あなたも迷い込んでみませんか。

(当館学芸員 福田 善子)



雲谷等益 《琴棋書画図屏風(左隻)》17世紀 山口県立美術館蔵

山口県立美術館ニュース「天花」第121号 平成26年3月発行

編集 指定管理者サントルーバーリテイナー・エス株式会社 発行 山口県立美術館 印刷 阿部社写真印刷株式会社

特別展

大浮世絵展

日本文化の代表的存在として、国際的な評価と知名度を誇る「浮世絵」。それは江戸の世の人々が関心を抱き、心惹かれていた、さまざまなものごと——流行のファッション、人気の役者、評判の美人、名高い名所風景などの姿を多種多彩に写し出すとともに、時空を超えた現代の私たちをも魅了する力を湛えています。

本展はこうした浮世絵のなかから名品を選び、全国および世界各地から一堂に集めた、かつてない規模で開催される、まさに「大浮世絵展」です。誕生前夜から初期、そして歌麿、写楽、北斎、広重、国芳らスター絵師たちの活躍を経て近代に至るまでの、300年以上に渡る浮世絵全史を、約350点の作品でご紹介いたします。

誰もが一度は目にしたことのある作品が勢揃いする、決定版というべき本展覧会を通じて、浮世絵の全貌と魅力を余すところなくご堪能ください。

- ☒ **会 期**：2014年5月16日(金)～7月13日(日) (月曜休館)
- ☒ **会 場**：山口県立美術館
- ☒ **開館時間**：9：00～18：00 (※入館は17：30まで)
- ☒ **主 催**：大浮世絵展実行委員会
(山口県立美術館、国際浮世絵学会、読売新聞社、KRY山口放送)
- ☒ **協 力**：日本航空
- ☒ **後 援**：西日本旅客鉄道株式会社、一般社団法人山口県観光連盟、
一般財団法人山口観光コンベンション協会
- ☒ **特別協力**：エフエム山口
- ☒ **特別協賛**：山口銀行
- ☒ **観 覧 料**：一般1200円(1000円) / 学生・シニア1000円(800)円
◎コレクション展セット券(当日券のみ)一般1300円(1100円) / 学生1100(900円)
※シニアは70歳以上の方、()内は前売りおよび20名以上の団体料金。
※18歳以下および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。

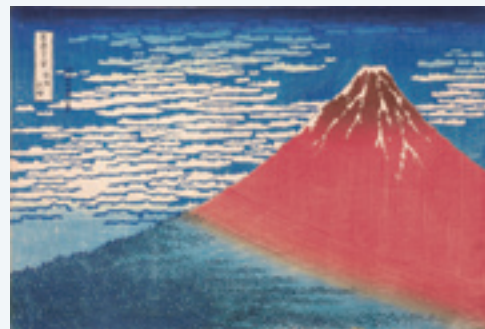
※作品保護のため、会期中展示替えがあります。
会期は全8期に分かれ、1期につき約160点を展示予定です。

あなたの見たい浮世絵に出会えます

歌麿の美人、写楽の役者絵、北斎や広重の名所風景、国芳の猫……切手や教科書で親しんだ、誰もが一度は目にしたことのある有名作品が大集結。あなたの見たい浮世絵に、出会えます。



浮世絵の「国際選抜」!



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」
大判錦絵 / ペルリン国立アジア美術館蔵
©Staatliche Museen zu Berlin, Museum für Asiatische Kunst, photography Jürgen Liepe
展示予定：5/16-6/15



葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」
大判錦絵 / ギメ東洋美術館蔵
©RMN-Grand Palais (musée Guimet, Paris) / Richard Lambert / distributed by AMF
展示予定：5/16-6/29



国宝
「婦女遊楽図屏風(松浦屏風)」
(左隻) 紙本金地着色・六曲一双
大和文華館蔵
展示予定：5/26-7/13
(一隻ずつの展示になります)

左)
喜多川歌麿
「名所江戸十品 ポップンを吹く娘」
大判錦絵 / 東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives
展示予定：5/16-6/1

右)
東洲斎写楽
「三代目大谷鬼次の江戸兵衛」
大判錦絵 / 千葉市美術館蔵
展示予定：6/17-7/13



歌川広重
「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」
大判錦絵
高浜市やきもの里から美術館蔵
展示予定：7/1-7/13

浮世絵の全貌がわかります

会場は時代順に浮世絵の誕生期から昭和までの歴史をたどる、全六章構成。浮世絵の歴史をまるごと体感していただけます。また浮世絵の多種多様なジャンルや、形式も紹介。その全貌がわかります。

特別展

山下清展

一般 1000 (800) 円 / 70才以上・学生 800 (600) 円
※()内は前売り、および20人以上の団体料金。

2014年7月26日(土) — 9月7日(日)



山下清《長岡の花火》 貼絵 1950 (昭和25) 年

緻密で色鮮やかな独特の貼絵で知られる山下清(1922-1971)。そのほのぼのとした放浪生活は、テレビドラマにもなり、多くの人々の共感を呼びました。とはいうものの、そこで生み出された「山下清」イメージがあまりにも強すぎて、かえって、この画家の真の姿を見失ってしまうという事態も生じました。このたびの展覧会では、その代名詞ともいうべき貼絵を中心に、ペン画、油彩画、水彩画など約180点を紹介。遺族の証言や本人のコメントともあわせ、「日本のゴッホ」「放浪の天才画家」といわれた山下清が、何を考え、何を感じながら作品を生み出したのか、その足跡をたどります。

超絶技巧！明治工芸の粋 —これぞ明治のクールジャパン—

2015年2月21日(土) — 4月12日(日)

近年、美術雑誌などで頻繁に取り上げられるようになった明治の工芸。とりわけ、超絶技巧による精緻きまわりの作品は、国内外の美術市場においても、注目を集めるものとなりました。しかしながら、その多くは、外貨を稼ぐための海外輸出商品として作られたものであったため、国内ではその全貌を目にする機会はほとんどありませんでした。このたびの展覧会では、質、量ともに世界一といわれる村田理如氏の秘蔵コレクションの中から、並河靖之らの七宝、正阿弥勝義らの金工、柴田是真・白山松哉らの漆工、旭玉山・安藤緑山らの牙彫など、海外から買い戻された選りすぐりの百数十点を一堂に紹介します。



並河靖之《桜蝶図平皿》 有線七宝 清水三年坂美術館蔵

コレクション特別企画

没後40年 香月泰男展 シベリア・シリーズと原画

2014年4月17日(木) — 5月6日(火・祝)

着想から完成まで

長門市三隅で生まれ、豊かな自然に恵まれたこの山陰の小さな町で制作をつづけた香月泰男(1911-74)。彼の名を全国に知らしめたのは、戦争とシベリア抑留の体験を描いたシベリア・シリーズでした。このたびの展覧会では、香月泰男の没後40年を記念して、シベリア・シリーズとその下絵になった素描や関連資料を併せてご紹介します。着想から完成にいたるシベリア・シリーズの造形的な変遷を辿る本展は、画家が作品に込めた想いを見つめなおす絶好の機会です。



香月泰男《ホロンバイル》1960年
油彩 カンヴァス 山口県立美術館蔵

美術講座「素描から完成作へ—シベリア・シリーズの軌跡」

4月19日(土) 14:00-15:00 山口県立美術館 講座室

講師 萬屋健司(山口県立美術館 専門学芸員)

定員 80名(当日先着順) 聴講無料



《「ホロンバイル」関連素描》1959年頃
山口県立美術館蔵

開館時間 9：00～17：00 (入館は16：30まで)
休館日 月曜日 ※ただし4月28日、5月5日は開館

観覧料 一般500円 / シニア・学生400円
◎コレクション展セット券 一般600円 / 学生500円
※シニアは70歳以上の方。
※18歳以下、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。

主催 山口県立美術館、エフエム山口

関連展覧会

本展覧会の会期中、香月泰男の生まれ故郷、長門市三隅の香月泰男美術館でも画家の没後40年を記念した特別展が開催されています。二つの展覧会をとおして、香月泰男の魅力を存分に堪能ください。

「香月泰男 没後40年 香月泰男(シベリア・シリーズ)より」
2014年3月8日(土) — 6月2日(月)
香月泰男美術館
〒759-3802 山口県長門市三隅中湯丸温泉
開館時間 9：00～17：00 (入館は16：30まで)
休館日 火曜日 ※ただし4月29日、5月6日は開館、5月7日は休館

雪舟と雲谷派

2014年10月30日(木) — 11月30日(日)

室町時代、山口を拠点に活躍した画僧・雪舟。中国・明に渡り、帰国後、日本の水墨画に新風を起こし、後世の画家に多大な影響を与え続けた、日本を代表する画家のひとりです。さらに、桃山時代、その雪舟の画風を受け継ぎ、長州藩毛利家のお抱え絵師となった雲谷等顔を初代として、江戸時代約260年もの間、脈々と雪舟流を守りながら、多彩な展開を見せた雲谷派の画家たち。

今回は、当館所蔵の雪舟・重要文化財3点同時公開はもちろんのこと、雲谷派の魅力をもっと知っていただくために、絵のテーマ毎に作品をわかりやすく紹介します。



雲谷等鶴《花鳥図屏風(右隻)》17-18世紀
紙本金地着色 山口県立美術館蔵